

第 1 回
三宮再整備経済効果検討委員会

経済効果の計測について

2019年9月3日

1. フロー効果の計測
2. ストック効果の計測

1. フロー効果の計測

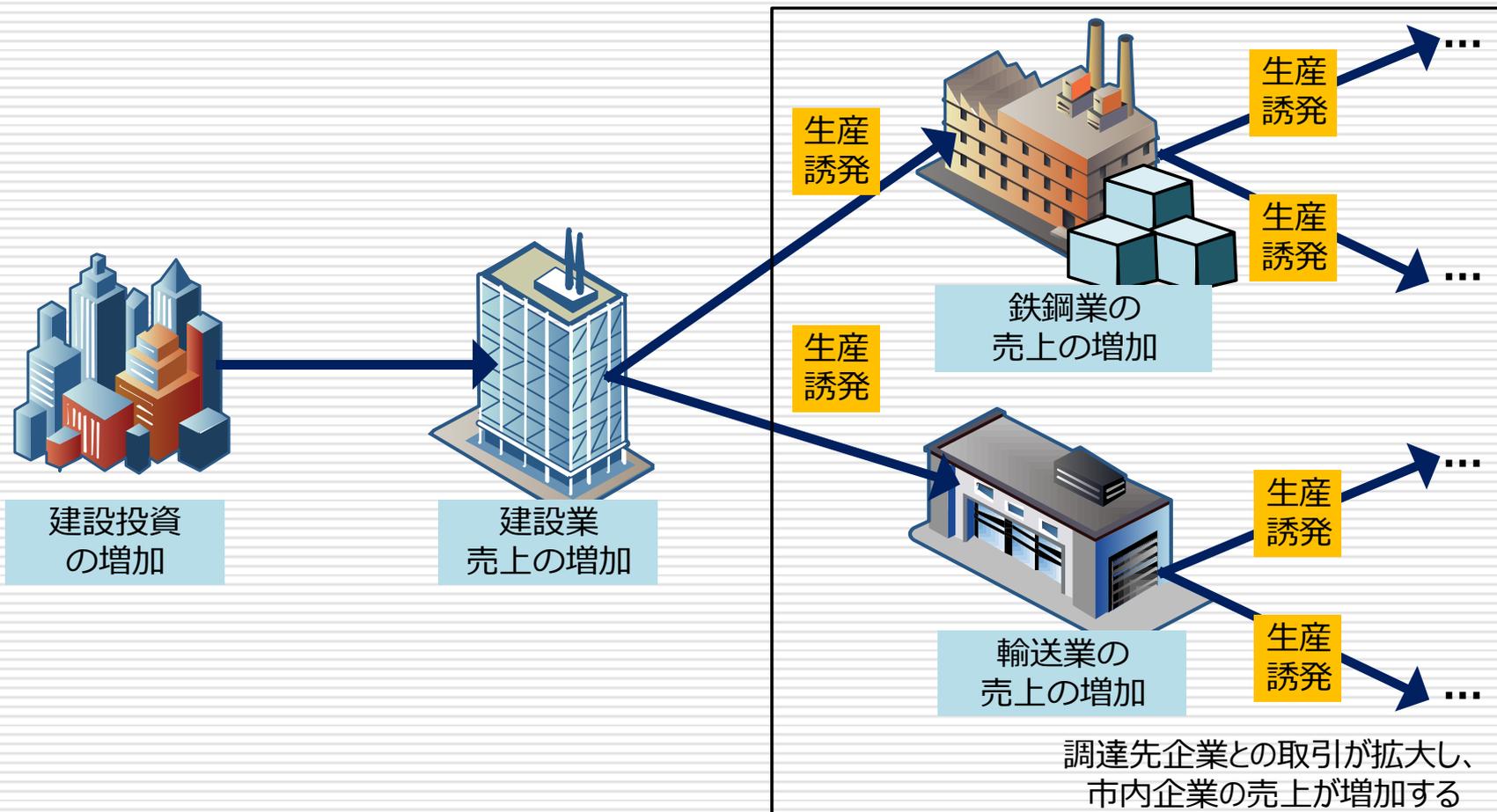
建設投資により建設工事期間中に発生する経済効果

1. 直接効果

- 三宮再整備により建設投資が行われることで、神戸市の関連産業（ゼネコンなどの建設業）の生産額（＝売上）が増加する。

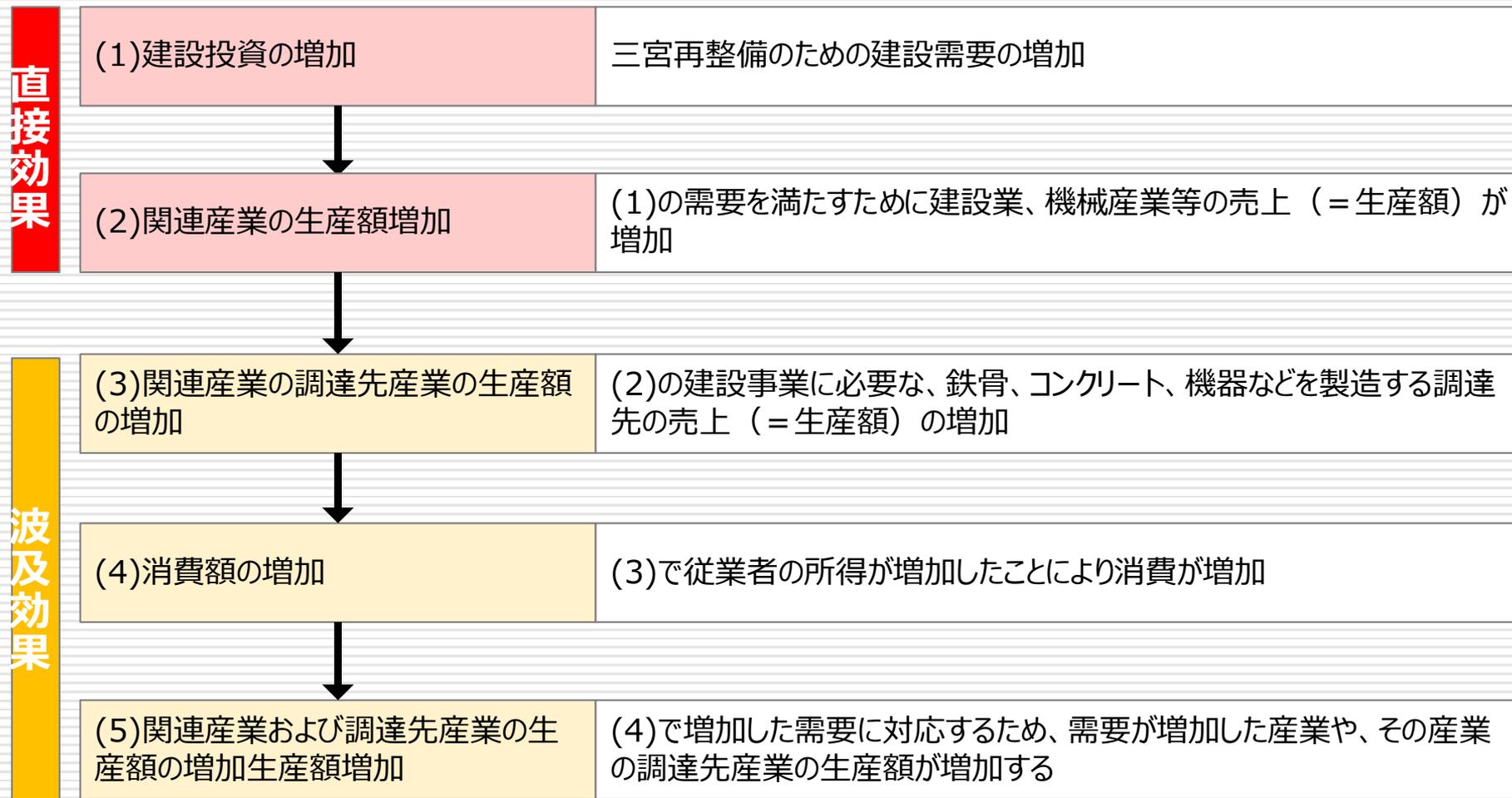
2. 波及効果

- 神戸市の関連産業（ゼネコンなどの建設業）の生産が増加することで、生産に必要となる原材料やサービスの需要が増加する。
- これにより、関連産業と取引する調達先産業（鉄鋼業、輸送業など）の生産が誘発され生産額（＝売上）が増加する。
- さらに、これらの調達先産業と取引する調達先産業への需要が増加し生産が誘発され生産額が増加する。さらに、これらの調達先産業と取引する調達先産業…と、次々と新たな生産が誘発され、市内での取引が拡大していく。



直接効果

波及効果 (取引の拡大)

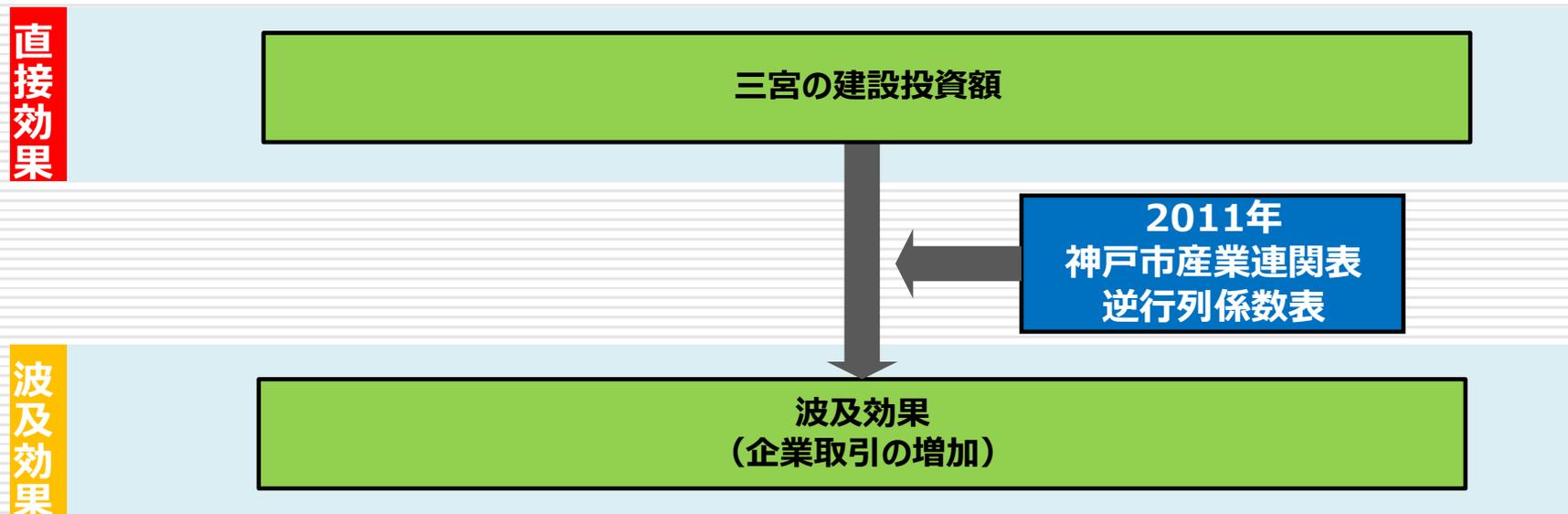


1. 直接効果

- フロー効果の直接効果は三宮の建設投資額として計測する。

2. 波及効果

- フロー効果の波及効果は、フロー効果の直接効果に2011年神戸市産業連関表の逆行列係数を乗じて計測する。



2. ストック効果の計測

整備された施設や空間を利用することで発生する経済効果

1. 直接効果

(1) 来訪者の増加による消費額の増加

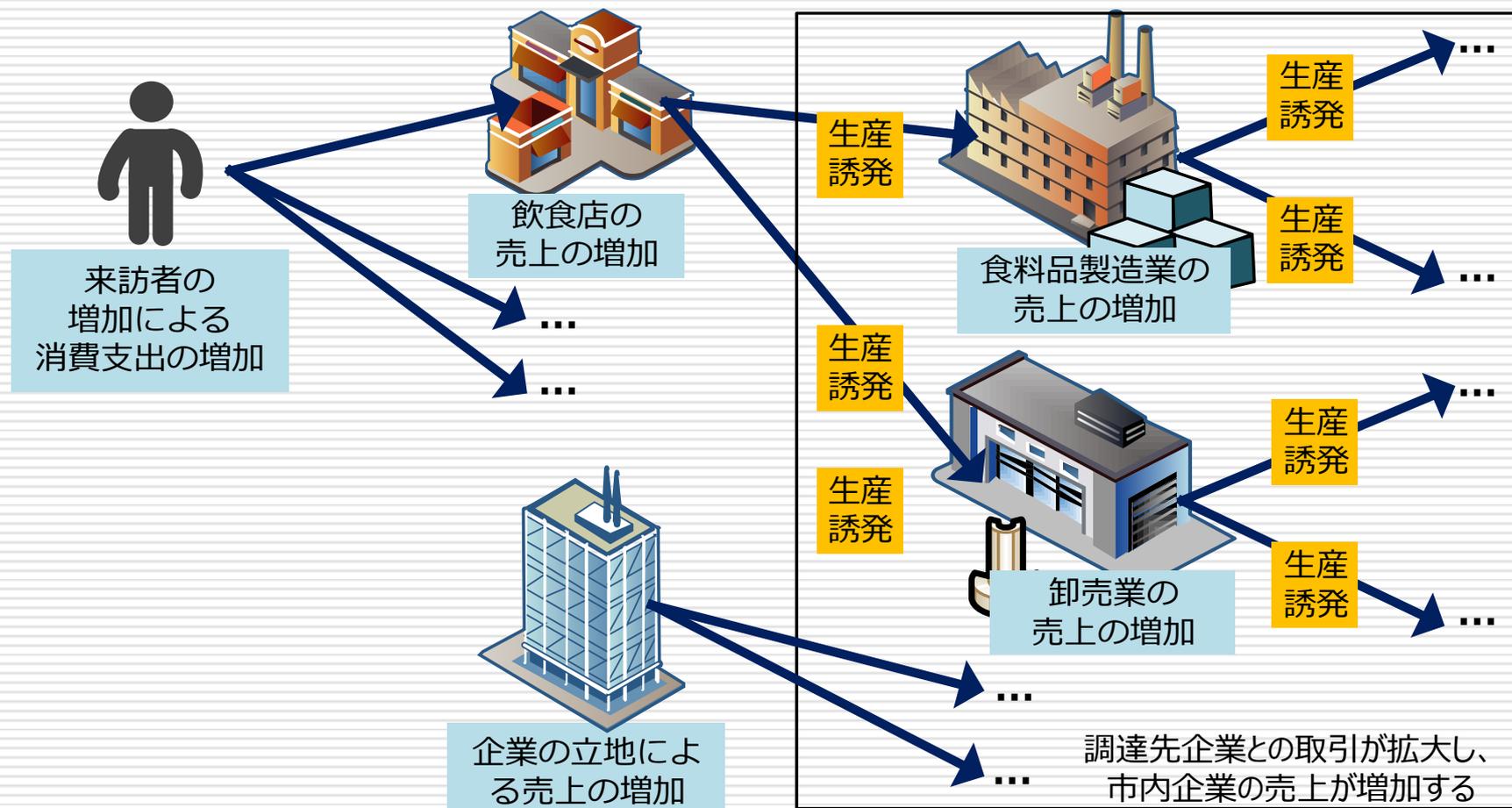
- 三宮への通勤、買物、観光、出張の来訪者増加により、神戸市内での宿泊、飲食、娯楽、土産物購入などの消費額が増加する。

(2) 企業の立地による売上の増加

- 三宮に新たに立地した企業が生産活動を行い三宮の生産額（＝売上）が増加する。

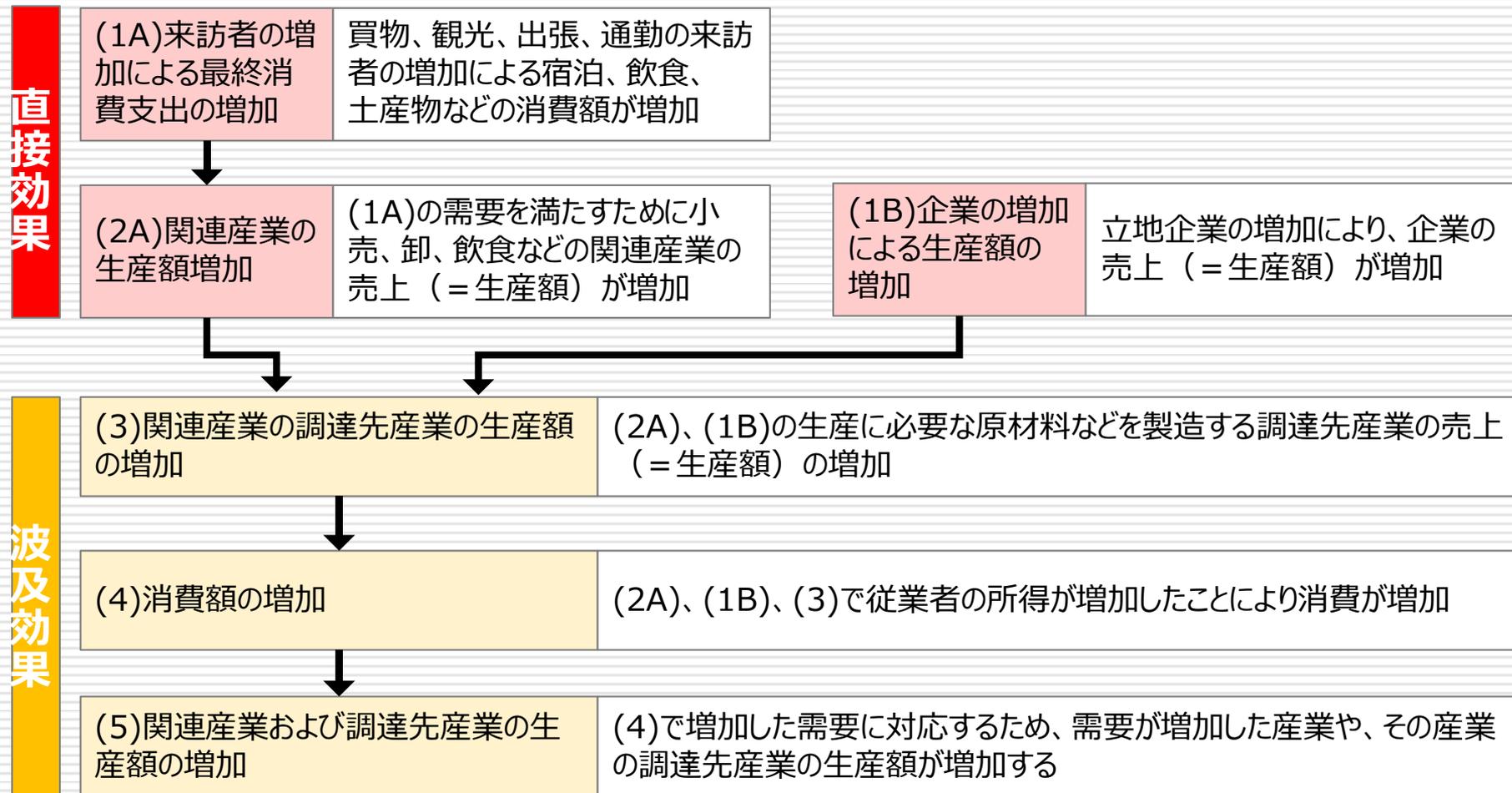
2. 波及効果

- 神戸市の関連産業（宿泊、飲食、娯楽などの対個人サービス業、小売業など）の生産額（＝売上）が増加し、生産に必要となる原材料やサービスの需要が増加する。
- これにより、関連産業と取引する調達先産業（飲食店、小売業に商品を卸す卸売業、商品を製造する製造業、ビジネスサービスを提供する対事業所サービスなど）の生産が誘発され生産額（＝売上）が増加する。
- さらに、これらの調達先産業と取引する調達先産業への需要が増加し生産が誘発され生産額が増加する。さらに、これらの調達先産業と取引する調達先産業…と、次々と新たな生産が誘発され、市内での取引が拡大していく。



直接効果

波及効果（取引の拡大）



1. 直接効果

- ストック効果の直接効果は、来訪需要の予測結果から計測する来訪者の増加による消費の増加額、オフィス需要の予測結果から計測する企業の立地による売上の増加額の2つである。

2. 波及効果

- ストック効果は、推計年次において発現する効果であるが、将来時点の産業間の取引構造は未知である。
- このため将来の取引構造（投入係数）は現在と同様であると仮定し、ストック効果の直接効果に、2011年神戸市産業連関表の逆行列係数乗じて計測する。
- GRPの総額は全国の経済成長率をもとに推計年次のGRPを設定し効果の大きさを計測する。

